

神代地域運営体だより

平成 24年4月16日

第7号

通巻第12号

産業振興支援部から

冬がっこ発表会を終えて

2月12日仙北市就業改善センターにて「べにはな」を使用した、いぶりがっこの「冬がっこ発表会」を開催いたしました。

当日は時折雪が舞う寒空でしたが、神代地区住民税申告相談が行われていたことから申告相談の待ち時間の合間や帰り際等を利用していただき、多くの方々に「冬がっこ」をご賞味いただきました。



5種類の「冬がっこ」の中から、アンケート用紙にもっとも美味しかった「冬がっこ」を選んでいただき、感想をご記入いただきました。産業振興支援部が作成した5種類の「冬がっこ」からは、柿を使用したものに人気が集まりました。

今後は、アンケート内容を確認し、地元ホテル、旅館等でご利用していただけるよう「自慢の味」に磨きを掛けていきたいと思っております。

平成24年度総会について

◎日 時 平成24年4月21日（土）午前10時00分から

◎会 場 仙北市就業改善センター

◎案 件 平成23年度事業報告並びに収支決算について・監査報告
平成24年度事業計画並びに収支予算について

平成23年度を振り返って

22年9月からスタートし、2年目を迎えた神代地域運営体も地域の皆様のご理解とご協力のおかげを持ちまして、各支援部で計画した今年度目標を達成することが出来ました。主に昨年より引き続き行った有償除雪ボランティア隊による一人暮らしの高齢者を中心とした除雪活動、神代地域の水害ハザードマップ作成、「仙北地方ささら大競演会」への協力、べに花を使用したいぶり大根の「冬がっこ発表会」の実施などは、将来の神代地域に活力を与える礎になったことと、成果として受け止めているところです。

また、今年度より参画した若者会が冬事業として神代こども園を舞台にイルミネーションを設置し、地域の皆様に喜ばれたことは特筆に値するものと思っております。24年度は、この2年間の反省と課題を克服し、更なる前進を図って参りたいと考えておりますので、益々のご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



神代地域運営体会長 細川 俊雄

各支援部から

【産業振興支援部】

藤田静夫さんから野菜乾燥機をお借りし、規格外野菜の二次利用を模索しました。24年度は地域の皆様へご利用してもらうよう、より一層の周知をし、更なる規格外野菜の乾燥による二次利用を目指します。2月には「冬がっこ発表会」を開き、「べに花」を使い添加物を減らした「いぶり大根」5種類発表しました。又、「田沢湖高原雪まつり」にも参加し、試食会をおこないました。地域の皆様のみならず、多くの方々からいただいた意見をもとにし、24年度は「いぶり大根」を使った特産物開発を目指します。若者会が企画した「冬事業イルミネーション」に協力しました。12月から「神代こども園」にイルミネーションを設置し、子どもたちや父兄から大変喜ばれました。

【生活環境支援部】

5月には平成22年度に作成した「地域案内看板」を集落の方々のご協力を得て各地域に設置しました。また、大船と城廻り地域のご協力を得て、集落道排水路整備を行いました。3月には谷地川集落のご協力により、大沼公園の桜テングス病の枝切り作業をしました。地域の皆様にはご協力をいただき、誠にありがとうございました。また、3月に「神代地域水害ハザードマップ」を作成し、皆様のお手元にお届けしました。24年度は、地域の皆様に災害にご理解を深めてもらうよう講演会等を企画していきます。

【福祉支援部】

昨年に引き続き、除雪ボランティアを結成し活動をしました。今年度は12月から降雪、積雪とも昨年以上であり、そしてまた除雪依頼も昨年より増えたため、全ての依頼に応えることが出来なかったことが課題となりました。24年度は今年度の問題や課題を出来るだけ解消するよう検討していきます。また、地域の「長寿を祝う会」に協力しました。

【地域文化支援部】

伝承具の整備として「梅沢ささら」獅子頭を修理しました。また、「仙北地方ささら大競演会」を後援し協力いたしました。24年度は引き続き伝承具の整備等を進めていきます。



発行機関 神代地域運営体
発行責任者 古郡 朝男
田沢湖神代字野中清水 292-1
TEL 44-2112